

[発行番号] 姫テシ-0101C

[表 題] RINA船級規格 型式認定取得

[発 行] 2012年 4月(2017年4月改訂C版)

[適用機種] MELSEC-F FX3Gシリーズシーケンサ

三菱電機マイクロシーケンサ MELSEC-F シリーズに格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、MELSEC-F FX3G シリーズ基本ユニット、機能拡張ボード、特殊アダプタ接続用アダプタ、メモ리카セットおよびディスプレイモジュールが、Registro Italiano Navale (イタリア船級協会、以下 RINA と略す)から Programmable logic controller の型式認定に追加されましたのでお知らせします。

記

1. 対象機種

	機種
基本ユニット (AC 電源タイプ)	FX3G-14MR/ES, FX3G-14MT/ES, FX3G-14MT/ESS, FX3G-24MR/ES, FX3G-24MT/ES, FX3G-24MT/ESS, FX3G-40MR/ES, FX3G-40MT/ES, FX3G-40MT/ESS, FX3G-60MR/ES, FX3G-60MT/ES, FX3G-60MT/ESS [海外専用品] FX3G-14MR/ES-A, FX3G-14MT/ES-A, FX3G-24MR/ES-A, FX3G-24MT/ES-A, FX3G-40MR/ES-A, FX3G-40MT/ES-A, FX3G-60MR/ES-A, FX3G-60MT/ES-A
基本ユニット (DC 電源タイプ)	FX3G-14MR/DS, FX3G-14MT/DS, FX3G-14MT/DSS, FX3G-24MR/DS, FX3G-24MT/DS, FX3G-24MT/DSS, FX3G-40MR/DS, FX3G-40MT/DS, FX3G-40MT/DSS, FX3G-60MR/DS, FX3G-60MT/DS, FX3G-60MT/DSS
機能拡張ボード	FX3G-232-BD, FX3G-485-BD, FX3G-422-BD, FX3G-2AD-BD, FX3G-1DA-BD, FX3G-8AV-BD
特殊アダプタ 接続用アダプタ	FX3G-CNV-ADP
メモ리카セット	FX3G-EEPROM-32L
ディスプレイ モジュール	FX3G-5DM

2. 規格認定内容

下表に RINA 規格の認定内容を示します。

1) 認定内容

項目	内容
認定機関	Registro Italiano Navale
認定番号*	-
分類	Programmable logic controller
ルール*	-
有効期間*	-

* 認定番号、ルールおよび有効期間については、三菱電機 FA サイトをご参照ください。

2) 認定詳細

RINA 認定の MELSEC-F FX3G シリーズ基本ユニット、機能拡張ボード、特殊アダプタ接続用アダプタ、メモ리카セットおよびディスプレイモジュールは、下記の環境で使用してください。

項目	内容	備考
EMC	EMC:船内の任意の場所 (船橋および甲板を含む)	3. 制約事項

3. 制約事項

RINA 認定システムとして MELSEC-F FX3G シリーズ基本ユニット, 特殊アダプタ接続用アダプタ, 機能拡張ボード, メモリカセットおよびディスプレイモジュールをお使いいただくばあいの制約事項についてご連絡致します。

船橋および甲板で使用するばあいは、「(1)制御盤について (e)」と「(3)ノイズフィルタについて」の制限事項が追加されます。

(1) 制御盤について

- (a) 制御盤は導電性としてください。
- (b) 制御盤本体は、できるだけ太い接地線で接地してください。
- (c) 制御盤は、制御盤扉と本体との電気的接触を確保してください。
そのために、扉と本体を太い渡り線で接続(導通)してください。(図1 参照)
- (d) 制御盤は、電波の漏れを抑えるために極力隙間のない構造としてください。制御盤扉と本体の間は、EMI ガasketなどを取り付けて極力隙間のない構造としてください。
EMI ガasketを取り付ける際は、扉と本体の接触部分の塗装をはがし、EMI ガasket, 導電性粘着テープを貼り付けてください。また、ケーブルの引込み穴などは、シールドカバーなどで覆ってください。(図1 参照)

当社が行なった EMC 試験は、最大 46.8dB, 平均 26.4dB(30MHz~2GHz, 3m 法測定)の減衰特性の盤に平均 69dB(150kHz~100MHz)の減衰特性をもつ EMI ガasketを取り付けた状態で実施しています。

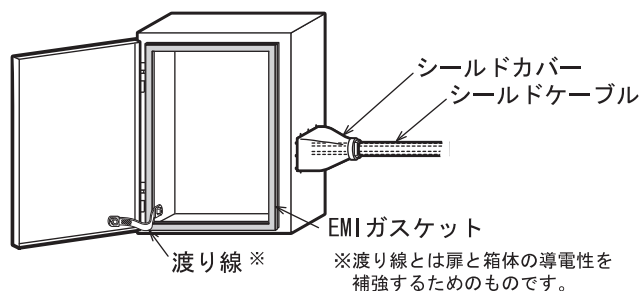


図1 制御盤の製作例

- (e) AC 電源タイプの基本ユニットを使用するばあいは、低周波数領域での減衰特性の高い制御盤を使用してください。**[船橋および甲板で使用するばあいの追加制約事項]**
当社が行なった EMC 試験は、上記(d)中に示した 30MHz~2GHz の減衰特性に加え、150kHz~30MHz で最大 23.32dB, 平均 19.9dB(3m 法測定)の減衰特性の盤で実施しています。
- (f) メンテナンス時などに制御盤内のシーケンサに触れる可能性があるばあいは、必ず除電を行い静電気の影響が無いようにご注意ください。

(2) ケーブルについて

- (a) 制御盤から引き出されるケーブルは、必ずシールドケーブルを使用してください。
- (b) シールドケーブルおよびシールドカバーなどのシールドは、接地された制御盤へ接続してください。

(3) ノイズフィルタについて **[船橋および甲板で使用するばあいの追加制約事項]**

電源ラインにノイズフィルタを取り付けてください。(図4 参照)

当社が行なったEMC試験は、図2,3に示すようなコモンモード減衰特性をもつノイズフィルタで実施しています。

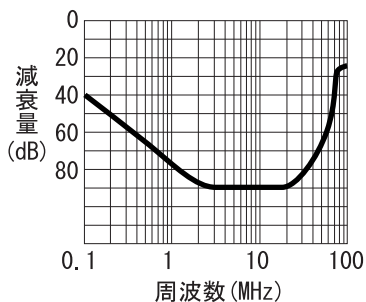


図2 基本ユニット(AC電源タイプ)用ノイズフィルタの減衰特性例

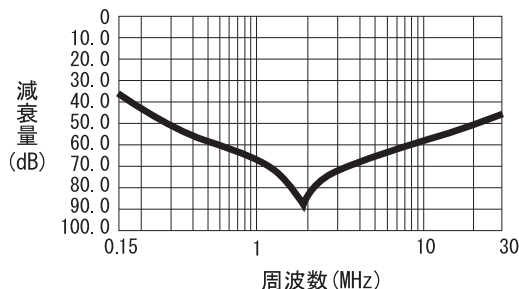
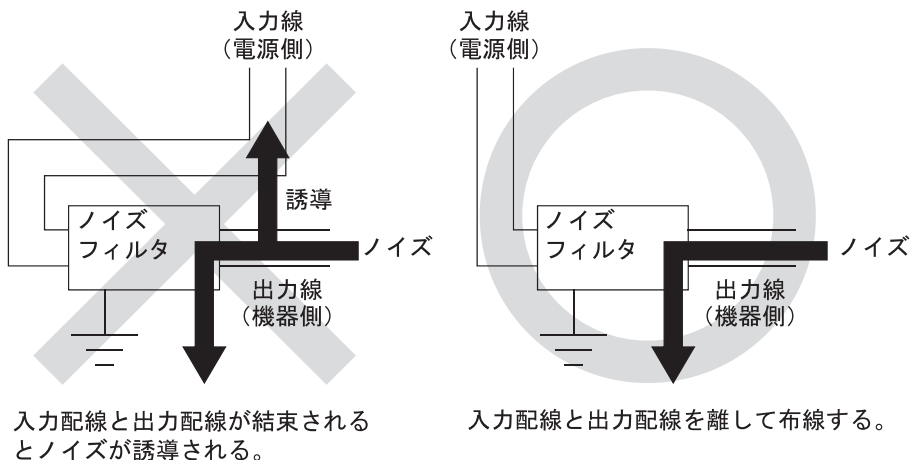


図3 基本ユニット(DC電源タイプ)用ノイズフィルタの減衰特性例

(a) ノイズフィルタの入力線(電源側)と出力線(機器側)は分離してください。

入力線と出力線を束線したり、近くに布線したりするとノイズフィルタでノイズを除去した入力線に出力線のノイズが誘導され、期待した効果が得られません。



入力配線と出力配線が結束されるとノイズが誘導される。

入力配線と出力配線を離して布線する。

図4 ノイズフィルタの注意事項

(b) ノイズフィルタの接地線は、できるだけ短い配線で接地してください。

改訂履歴

副番	発行年月	改訂内容
A	2012年4月	初版作成
B	2015年11月	お問い合わせ先の記載内容を更新
C	2017年4月	認定内容の記載内容を変更

[発行番号] 姫7-シ-0101C

三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

お問い合わせは下記へどうぞ

本社	〒100-8310	東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)	(03) 3218-6760
北海道支社	〒060-8693	札幌市中央区北二条西4-1 (北海道ビル)	(011) 212-3794
東北支社	〒980-0013	仙台市青葉区花京院1-1-20 (花京院スクエア)	(022) 216-4546
関東支社	〒330-6034	さいたま市中央区新都心11-2 (明治安田生命さいたま新都心ビル ランド・アクシス・タワー 34F)	(048) 600-5835
新潟支店	〒950-8504	新潟市中央区東大通2-4-10 (日本生命ビル)	(025) 241-7227
神奈川支社	〒220-8118	横浜市西区みなとみらい2-2-1 (横浜ランドマークタワー)	(045) 224-2624
北陸支社	〒920-0031	金沢市広岡3-1-1 (金沢パークビル)	(076) 233-5502
中部支社	〒450-6423	名古屋市中村区名駅3-28-12 (大名古屋ビルヂング)	(052) 565-3314
豊田支店	〒471-0034	豊田市小坂本町1-5-10 (矢作豊田ビル)	(0565) 34-4112
静岡支店	〒422-8067	静岡市駿河区南町14-25 (エスパティオビル)	(054) 202-5630
関西支社	〒530-8206	大阪市北区大深町4-20 (グランフロント大阪タワーA)	(06) 6486-4122
中国支社	〒730-8657	広島市中区中町7-32 (ニッセイ広島ビル)	(082) 248-5348
四国支社	〒760-8654	高松市寿町1-1-8 (日本生命高松駅前ビル)	(087) 825-0055
九州支社	〒810-8686	福岡市中央区天神2-12-1 (天神ビル)	(092) 721-2247

三菱電機 FA

検索

www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

メンバー登録無料!

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくとマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

電話技術相談窓口 受付時間*1 月曜～金曜 9:00～19:00、土曜・日曜・祝日 9:00～17:00

対象機種	電話番号	対象機種	電話番号
MELSEC iQ-R/Q/L/QnA/Aシーケンサ一般	052-711-5111	MELSERVOシリーズ	052-712-6607
MELSEC iQ-F/FX/Fシーケンサ全般	052-725-2271*2	位置決めユニット (MELSEC iQ-R/Q/L/Aシリーズ)	
ネットワークユニット/シリアルコミュニケーションユニット	052-712-2578	シンプルモーションユニット (MELSEC iQ-R/Q/L/Aシリーズ)	
アナログユニット/温調ユニット/温度入力ユニット/高速カウンタユニット	052-712-2579	モーションCPU (MELSEC iQ-R/Q/Aシリーズ)	
MELSOFTシーケンサプログラミングツール	MELSOFT GXシリーズ 052-711-0037	センシングユニット (MR-MTシリーズ)	
MELSOFT統合エンジニアリング環境 iQ Sensor Solution	MELSOFT iQ Works (Navigator) 052-799-3591*3	シンプルモーションボード	
MELSOFT通信支援ソフトウェアツール	MELSOFT MXシリーズ 052-712-2370*3	C言語コントローラ	
MELSECパソコンボード	Q80BDシリーズなど	インタフェースユニット (Q173SCCF)/ポジションボード	
C言語コントローラ		MELSOFT MTシリーズ/ MRシリーズ/EMシリーズ	
MESインタフェースユニット/高速データロガーユニット	052-799-3592*3	センサレスサーボ	
MELSEC計装/iQ-R/Q二重化	プロセスCPU/二重化CPU (MELSEC-Qシリーズ)	インバータ	052-722-2182
	プロセスCPU (プロセス/二重化) (MELSEC iQ-Rシリーズ)	三相モータ	0536-25-0900*3*4
	MELSOFT PXシリーズ	ロボット	052-721-0100*3
MELSEC Safety	安全シーケンサ (MELSEC iQ-R/QSシリーズ)	電磁クラッチ・ブレーキ/テンションコントローラ	052-712-5430*3*5
	安全コントローラ (MELSEC-WSシリーズ)	データ収集アナライザ	052-712-5440*3*5
電力計測ユニット/絶縁監視ユニット	QE8□シリーズ 052-719-4557*2*3	低圧開閉器	052-719-4170
センサ MELSENSOR	レーザ変位センサ ビジョンセンサ 052-799-9495*3	低圧遮断器	052-719-4559
表示器	GOT-F900/DUシリーズ 052-725-2271*2 GOT2000/1000/A900シリーズなど 052-712-2417 MELSOFT GTシリーズ	電力管理用計器	052-719-4556
		省エネ支援機器	052-719-4557*2*3
		小容量UPS (5kVA以下)	052-799-9489*3*6

お問い合わせの際には、今一度電話番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願い致します。
 ※1: 春季・夏季・年末年始の休日を除く ※2: 金曜は17:00まで ※3: 土曜・日曜・祝日を除く ※4: 月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30
 ※5: 受付時間9:00～17:00 ※6: 月曜～金曜の9:00～17:00

FAX技術相談窓口 受付時間 月曜～金曜 9:00～16:00 (祝日・当社休日を除く)

対象機種	FAX番号
電力計測ユニット/絶縁監視ユニット (QE8□シリーズ)	084-926-8340
三相モータ225フレーム以下	0536-25-1258*7
低圧開閉器	0574-61-1955
低圧遮断器	084-926-8280
電力管理用計器/省エネ支援機器/小容量UPS (5kVA以下)	084-926-8340

三菱電機FAサイトの「仕様・機能に関するお問い合わせ」もご利用ください。
 ※7: 月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30 (祝日・当社休日を除く)

本マニュアルは、輸出する場合、経済産業省への役務取引許可申請は不要です。

安全に関するご注意 本テクニカルニュースに記載された製品を正しくお使いいただくためご使用前に必ず「マニュアル」をよくお読みください。

・本資料に記載してある会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。